

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第106号

平成24年(2012)1月発行

発行・事務局

◎ 荏原第一地域センター ◎

小山 3-22-3 (〒142-0062)

tel 3786-2000

fax 3786-5385

花めぐり

小山4丁目児童遊園

小山4丁目児童遊園で寒椿が見ごろを迎えています。冬枯れで花が少なくなる時期に、濃い常緑のつややかな葉の中に咲く真っ赤な寒椿の花は、心をぽっと温かくしてくれます。毎年、蕾がびっしりとつき、次から次へと咲き誇るので、寒さが増して寂しげな公園も華やかになります。また、咲き終わり、花卉が一枚一枚はらはらと散って、地面が赤く染まる風景は趣きがあり、楽しめます。



(広報委員 鈴木隆雄)

おめでとございました!!

荏原第一地区からは、荏原第一中学校の田原健太郎さんと荏原第六中学校の川崎誠士さんが発表しました。田原さんは「想像からの脱出」という題名で奨励賞を、川崎さんは「震災の募金を通じて気付いた本当のボランティア」という題名で最優秀賞を受賞しました。

品川区青少年対策地区委員会連合会主催「第12回品川区中学生の主張大会」が12月3日(土)、会場きゅりあんで行われました。この大会は、品川区の中学生が社会の一員として、地域や学校のなかで、日常生活を通じ経験したことやさまざまな活動を通して感じたことなどをテーマにして、意見を主張し合うものです。当日は、区内にある16校の中学校から各学校1名の代表者が発表しました。



荏原第一中学校 田原健太郎さん



荏原第六中学校 川崎誠士さん

第12回品川区中学生の主張大会を開催
荏原第六中学校の川崎さんが最優秀賞、
荏原第一中学校の田原さんが奨励賞を受賞

特大版



あんな話、
こんな話、
ちょっと、いい話

「ありがとう、あの時のお嬢さん!」

先日、出先で段差につまづき、左膝下を痛めてしまった時のこと。たくさんの荷物を持ちながら、やっとの思いで駅のエスカレーターまでたどり着いた。その時、女子学生が「荷物をお持ちしましょうか」と声をかけてくれた。あまりにも痛かったもので、地獄で仏に会ったような気がして、すぐに甘えてしまった。混んでいた車内では、自分の荷物があるにも関わらず、私の腕を支えてくれた。女子学生は、「自分は骨折を経験したけれど、本当に歩けなかった。きつと骨折はされてないと思いますよ」と慰めてくれた。下車駅が、お互いに武蔵小山駅だということが分かり、「ご自宅まで送りますでしょうか?」とまでも言ってくれた。改札口の所で心からお礼をいった。「同じ駅なので、またお会いする事もあるでしょう。お大事に」とやさしい笑顔で何度も振り返って立ち去った。足を引きずりながらも温かな感動いっぱい家にたどり着いた。

あの時のお嬢さん、本当にありがとう。

(小山台一丁目東K・K)



記事を募集しています♪

「まちかど」は、地域の情報を通じて住民相互の理解と交流、発展を目的として作成しております。俳句・短歌・町で見つけたあんな話、こんな話、ちょっといい話はもちろん、ご自身で考えた記事でも大歓迎です! たくさんの投稿をお待ちしております。

ご不明な点がございましたら、お気軽に下記までご連絡下さい。

第一地域センター:品川区小山3-22-3 Tel 3786-2000

町会紹介

小山台1丁目東町会

補助46号線沿いの植込み内や、道路の清掃をはじめ、老人会、学校との親密な関係の強化を行いながら、23年4月からは石津新会長のもと、「ずっと住んでいたい町づくり」に努めています。

我が町会区域内では、昭和21年の都市計画決定から60数年もの長い年月を経て、長さ360m、幅員20mの46号線道路が24年3月に完成する予定です。町会を二分するかのような、かむろ坂上より26号線に至る道路となり、町並み風景もまた変わることでしょう。

また、町会エリア内には英語教育に熱心で、新聞にも探り上げられた小山台小学校をはじめ、児童のさらなる学力向上に繋がるよう、一丸となって取り組んでいます。



さらに町会では、一年を通して様々な行事を行っています。12月下旬には、恒例の親子餅つき大会が小山台東公園(通称・飛行機公園)で行われます。餅だけでなく、具が沢山の豚汁もふるまわれ、他町会からの参加者も多く、当日は、賑やかなコミュニティ広場となり、長年にわたり大好評です。

(広報委員 川崎喬子)

◎各ご家庭に配布してあります。1部ずつお取り下さい。

「まちかど」は、品川区役所ホームページからもご覧いただけます。 <http://www.city.shinagawa/tokyo.jp/>

古紙を配合した紙を使用しています